

『2025年度 レフェリーの目標とビーチバレーボールの重点指導項目』

JVA競技普及推進本部 審判規則委員会 指導部

1 目 標

- (1) ルールの精神を理解し、論理的・実践的な知識を習得する。
- (2) 正しい判定をするための眼を養い、そのための基本的な動きや位置取りを研究し、審判技術の向上に努める。
- (3) 多くの経験を通して、強いメンタルと人間性の醸成に努め、よりよいゲームマネジメントに繋げる。
- (4) 試合での的確な判定や講習会等を通して、正しいルールや取り扱いをチームに伝える。

2 重点指導項目

【ファーストレフェリー】

- (1) ハンドリング基準について
 - ・オーバーハンドのセットアップやハードドリブン（強打）のオーバーハンドレシーブについて正しく理解し、試合を通して同一の基準で判定を行う。
 - ・オーバーハンドでの返球は、常にプレーを予測しアタックヒットの反則に注意する。
- (2) サービスの許可について
 - ・ラリー終了後、12秒以内にサービス許可のホイッスルができるよう、チームが遅延なく準備をするよう積極的にコントロールする。
- (3) 遅延行為について
 - ・ラリー間やセット開始前、タイムアウト・テクニカルタイムアウト終了時において、選手のどの行為が遅延の対象となるかを理解し、選手の遅延を防ぐ。
- (4) 各プロトコールの的確な運用について
 - ・マッチプロトコール、ボールマークプロトコール、メディカルアシスタンスプロトコールおよびプロテストプロトコールについて、その運用方法を理解する。
- (5) 不法な行為について
 - ・選手ならびにチームスタッフの不法な行為は、毅然とした態度で競技規則を適用する。

【セカンドレフェリー】

- (1) コートスイッチについて
 - ・コートスイッチの手順および取扱いを十分理解し、スムーズに行えるようにする。
- (2) 得点とサービス順について
 - ・スコアラー、アシスタントスコアラーと密に連携し、両チームの得点およびサービス順の確認を確実に行う。
- (3) 遅延行為について
 - ・選手のどの行為が遅延の対象となるかを理解し、積極的に選手をコントロールしファーストレフェリーを補佐する。
 - ・選手の不測の事態（砂が口に入りうがいをする、サングラスが破損し交換する場合など）に対して、適切なコントロールを行う。

【スコアラー】

- (1) サービス順、得点の確認をしながら、正確に記録をつける。疑わしいときは試合を止め、アシスタントスコアラー等に確認する。
- (2) コートスイッチとそれぞれのセット終了をレフェリーに正確に知らせる。

【アシスタントスコアラー】

- (1) 常にスコアラーと連携し、サーバーの番号や得点を確認する。ラリー終了後、直ちに次のサーバーの番号（ナンバーパドル）を示す。